

平成26年度 水資源功績者 功績概要

都道府県名:鳥取県 団体名:清水の恵みを守る会

地 域

清水の恵みを守る会が活躍されている鳥取県鳥取市気高町は、南に「因幡富士」と呼ばれる鷲峰山（じゅうぼうざん）を仰ぎ、北には日本海を望む山陰・鳥取県東部の町です。海岸には東西約8キロメートルにわたって白砂の浜が広がり、一大景勝地（西因幡県立自然公園）を形成しています。また、戦国期にこの地を治めた亀井茲矩（かめいこれのり）公を偲ぶ墓所もあり、先人たちの偉業に対し人々の熱い思いが寄せられています。

経 緯

気高町殿にある「布勢（ふせ）の清水」からは、古来より清冷な湧水がこんこんと湧き出ています。明治42年、清水を利用した町内初めての水道が、殿集落住民の力により敷設され、以後100年以上にわたり、清水の周辺や隣接する布勢平神社周辺の清掃活動等の取組が継続されています。

平成19年には、集落全世帯を構成員とする「清水の恵みを守る会」が設立され、この取組が継承されています。

功績内容

毎週日曜日に4世帯ずつが順番に行う神社周辺の清掃や、6月と10月に全世帯参加で行う清水と神社一帯の清掃等の取組は、100年以上継続されています。

また、清水を求めて町内外から多くの人々が訪れるため、道路傍までパイプを敷設し、水汲み場を整備するなど、町内外の人々への配慮もされています。

さらに、地元小学校が行う清水をテーマにした環境や歴史を学習する取組みに協力するなど、次世代への継承に向けた取組みなど、地元への大きな貢献をされています。

これらの成果として、布勢の清水は、昭和60年に鳥取県の「とっとり（因伯）の名水」に、平成20年に環境省の「平成の名水百選」に選定されています。



布勢の清水（左奥）と布勢平神社



清掃活動の様子



水汲み場の整備



環境学習の様子



布勢の清水周辺